

# 施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 広域連携の推進	② 施策番号	1104
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 広域連携の強化		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	秘書広報課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉州4市3町地域情報化推進協議会
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市内全域にケーブルテレビ網を整備し、ケーブルテレビを利用したい市民がいつでも利用できるようにし、行政情報や地域情報を提供できるよう整備する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	山間部地域に未整備地があり、協議会が一体となって、整備促進に向けて協議を進める。

### [2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 会議への参加回数 計算式:	回	協議会に参加することにより、情報共有や本市としての意見等を伝達する。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 会議への参加回数	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	1	2	—	—
		達成率	100.0%	50.0%	100.0%		
②		目標値					
		実績値					
		達成率					
③		目標値					
		実績値					
		達成率					

### [3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	地域情報化推進事業	参加回数	回	1	2	2	1,285	405	405	A	ア	○
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						1,285	405	405			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	協議会が一体となることにより、課題解決の促進につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	課題解決のために、会議への参加意義。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	直接市民が参加するものではなく、代表して参加することにより市民福祉の向上につながるから適切である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	4市3町が同じ課題解決に意見集約する場として適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	課題の解決に向けて、情報共有や意見集約の場は必要である。

### 4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	未整備地解消に向けての取組み。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	参加することにより、情報取得、発信及び様々な改善策が発案されるなどであることから、積極的な参加。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	参加することにより、情報取得、発信及び様々な改善策が発案されるなどであることから、積極的な参加。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	参加することにより、情報取得、発信及び様々な改善策が発案されるなどであることから、積極的な参加。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	協議会への参画を通じた情報の共有や活用による広域連携の推進に向けた取組を引き続き進められたい。	